

○ 安全な生産資材の安定供給の推進

【令和7年度予算概算決定額 392（320）百万円の内数】

＜対策のポイント＞
生産資材の安全確保に向けた科学データの収集分析、リスク管理措置の基礎となる試験法の開発、管理手法の検証等を実施します。
また、安定供給に向けた新技術による動物用医薬品等の開発支援、ワクチン原液保管機器導入の支援、ドローン用農薬等の登録拡大を促進します。

＜政策目標＞
国際的な標準に整合した制度の下、最新の科学的な知見に基づき、生産資材の安全と品質を確保し、安定的に供給

＜事業の内容＞

1. 農薬、肥料、飼料及び動物用医薬品に関する安全確保対策
- ① 新たな散布方式での薬効・薬害の効率的な評価、被覆による土壌くん蒸剤の使用量減少効果の検証等、**農薬の安全性向上に必要な調査・試験**を行います。
 - ② **産業副産物等の肥料利用拡大のため、品質や安全性に係る調査・試験や成分の簡易分析法の開発**を行います。
 - ③ 飼料中の有害物質の基準値作成等の**リスク管理措置の検討に必要な調査・試験等**を行います。
 - ④ 動物用医薬品の安全性に関する評価の充実に必要な調査・試験を行います。
2. 動物用医薬品の迅速かつ安定的な供給
- ① **家畜伝染病や薬剤耐性対策に資するワクチン、新技術による動物用医薬品等の開発・供給**を支援します。
 - ② 家畜伝染病の感染状況等の変化に伴うワクチンの必要量の変動に迅速に対応するため、**ワクチン原液等の保管に必要な超低温冷凍装置の導入**を支援します。
 - ③ **ワクチンの安定供給体制の強化に向けた関係者の連携体制を整備**します。
3. ドローンによる空中散布等に対応した農薬の登録促進
- 省力的・効果的な散布技術であるドローン、常温煙霧用等の農薬の登録拡大に向けた試験の実施を支援します。
4. 遺伝子組換え体の輸入時における検査方法の開発
- 未承認遺伝子組換え農作物の流入を的確に防止する観点から、栽培用種子等の輸入時の検査に利用可能な検査法を開発します。

＜事業イメージ＞

農 薬

- 新たな散布方式での薬効・薬害の効率的な評価、被覆による土壌くん蒸剤の使用量減少効果の検証等、農薬の安全性向上に必要な調査・試験の実施
- ドローン、常温煙霧用等の農薬の登録拡大に向けた試験の実施



動物用医薬品

- 動物用医薬品の毒性試験・残留試験等の調査・試験を実施
- 家畜伝染病や薬剤耐性対策に資するワクチン、新技術による動物用医薬品等の開発費を支援

◇新薬の開発・審査の迅速化を推進
◇現場に必要な医薬品等の安定供給



- ワクチン原液等保管機器導入の支援



遺伝子組換え体

- 国内で未承認の遺伝子組換え農作物に対する栽培用種子等の輸入時の検査法を開発

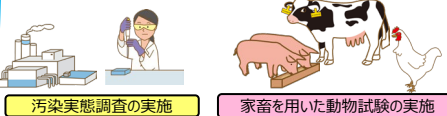
肥 料

- 産業副産物等の肥料利用拡大に向けた品質や安全性に係る調査・試験の実施
- 肥料事業者による成分分析の適切な実施を促すため、簡易分析法の開発を実施



飼 料

- 有害物質（かび毒、残留農薬、重金属）等の含有・実態調査、残留・移行試験

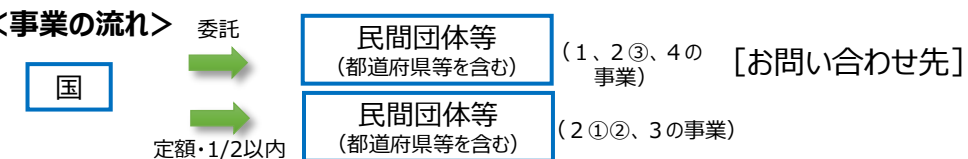


国際的な考え方に基づいて、科学的に基準値を設定

- 安全な飼料製造や抗菌性飼料添加物の適正使用推進のための実態調査及び普及啓発



安全な生産資材の安定的な供給



- | | | |
|-------------|----------------|----------------|
| (1 ①②、4の事業) | 消費・安全局農産安全管理課 | (03-3591-6585) |
| (1 ③④、2の事業) | 消費・安全局畜水産安全管理課 | (03-6744-2104) |
| (3の事業) | 消費・安全局植物防疫課 | (03-3502-3382) |